
桜に貢献した男の話

呑屋鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜に貢献した男の話

【Nコード】

N5455T

【作者名】

吞屋鈴

【あらすじ】

桜をこよなく愛でた男はその身を桜に捧げた。

(前書き)

アテンション。

- ・グロ？おkな方
- ・ホラー？おkな方

こんなアホな話を読んでくださる心の広い方はどうぞW W

桜というのはどうしてこう不思議な気分させるものか。私は何
十も訪れた春の内、毎度あの綺麗なピンクの花弁を見ているがその
度に胸騒ぎがするのだ。

どうも、私の潜在意識は常に桜へ向いてるのか、死にたくなるの
だ。この全身の血を、身体中に蔓延る骨を、それにまとわりつく肉
を、この桜が食らってくれたらどれだけいいことだろう！そう思う
のだ。周りには正気の沙汰じゃない等と言われるが、私は何時だっ
て正気さ。正気は則ち、狂気なのだから。

私は桜の幹にロープをかけて、それに首を通した。325人目の
死体は私だ。正直、来年の桜を見れないのは残念だが何、問題ない。
どうせ私は。

（後書き）

始めまして、呑屋鈴と言います。

：元々はP i x i v用に書き下ろしたものです。

季節外れですみません。

文芸部に入っているのです、これから、部誌に載せる短編なども書いていこうかとも思っています。

：因みに、『グロ』は私の大好物です。

そんなキチガイですが、何卒宜しくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5455t/>

桜に貢献した男の話

2011年10月9日04時13分発行